

## 秋岡つる氏旧蔵文書概要

1:文書群番号	099025
2:文書群名	秋岡つる氏旧蔵文書
3:出所	秋岡つる家
4:家業・役職等	近世：酒造業 近代：未詳
5:地名	摂津国川辺郡尼崎中在家町／兵庫県川辺郡尼崎町/内尼崎町／尼崎市中在家町／尼崎市西本町
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
7:歴史	秋岡家は鉛屋という屋号で、近世は酒造業を営んでいた。中在家町は元和4年(1618)に開始された尼崎城の築城にともなって、城の西方に移転・建設された町で、生魚問屋をはじめ漁業関係の商人や漁民が多く居住した。同町には当初東部の戎の浜に、宝暦8年(1758)の移転以降は西の大浜筋4丁目に魚市場があり、近海や西国各地から魚が入荷し、尼崎だけでなく大坂・京都にまで出荷するなど、生魚取引の中心地であった。
8:伝来	中在家町の調査のため大津氏を訪れた島原典子氏より、大津氏の表具店に秋岡家の文書があるとの情報をいただき、平成11年(1999)12月に借用。翌年3月、大津氏より寄贈。
9:史料入手先	大津英治氏(表具店経営)
10:点数	16点(目録件数16件)
11:年代	延享5年(1748)～大正元年(1912)
12:構造と内容	本文書群は、秋岡家の史料を、表具店を営む大津氏が襖の裏張り用にもらい受けたもので、①近世の土地関係史料と、②秋岡家の私的史料からなっている。①は、道意新田の開発由緒を記した「太布脇新田開発記」(『市史』5巻掲載の橋本治左衛門氏文書同名史料と同内容)や、上ヶ原新田の地主が新田の村役人に対して起こした請け米不払いの訴訟記録「摂州武庫郡上ヶ原新田地所出入一件につき訴訟記録」などがある。②は、寛政3年(1791)に発行された漢和辞典や、秋岡家の金銭出納簿などである。
13:関連史料	-
14:閲覧条件	原本
15:作成者	坂江 愛